

◆◆◆◆◆◆◆◆ ◆ 《 コ ラ ム 》 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

産業保健推進センター
「平成25年の暖候期（6～8月）は、平年より高めの気温となることが予想される」として、平成25年5月21日、厚生労働省より「平成25年の職場での熱中症予防対策の重点的な実施について」が通達されました。
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/h25necchuushou.html>

平成25年8月2日、「職場における熱中症による死亡者数（速報値）は、7月末時点で15名に達し、記録的猛暑であった平成22年の死亡者数と同様の状況」として、重ねて厚生労働省より「今夏の職場における熱中症予防対策の徹底について」が通達されました。
http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudouki jun/dl/anzeneisei02_250802-1.pdf

平成24年8月以降、岩手県での熱中症による労働死亡災害は発生していませんが、平成25年8月16日に発表された気象庁の東北地方の1か月予報（8月10日から9月9日までの天候見通し）では、「期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性がある」として特に注意を要するとしています。たしかに、10日以降最高気温が30度を超える日が続いており、熱中症予防対策の取組は気を抜けない状況です。

消防庁の緊急搬送状況（5月27日から8月11日 速報値）によると、岩手県では、171人が搬送され死亡0、全国では、39,944人が搬送され52人が死亡となっています。

そこで、「熱中症予防に関していつも思うこと」を3つ。

熱中症予防でいつも思うこと、その1

本年7月末時点で、全国で職場における熱中症により15名の方が亡くなっていますが、15件中6件が「体調不良のため休憩させており、様子を見に行ったりして亡くなっていた。」というものです。

つくづく「熱中症が疑われる症状が出た際の現場での応急措置、救急要請の判断を誤らないようにその基準等について現場に徹底しておく」必要性を感じます。

熱中症予防でいつも思うこと、その2

自覚症状以上に脱水症状が進行していることがあり、特に高齢者は、加齢にとれない、体内の水分の割合や感覚機能が低下して渴きを感じにくくなるそうです。のどが渴かなくても定期的に水分を摂ることが重要です。

熱中症予防でいつも思うこと、その3

睡眠不足、体調不良、前日の飲酒、朝食の未摂取などは、熱中症への近道です。日頃の体調の管理に気を配り、管理者は朝礼時などに労働者の健康状態の確認を行いましょう。

職場における熱中症予防対策マニュアル

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/0906-1.html>

「テレビ朝日の奇跡の地球物語」で「熱中症～体温と汗の秘密～」という番組を8月18日に放映していましたが、内容をホームページで詳しく説明してありますので、そちらも参考になると思います。

<http://www.tv-asahi.co.jp/miracle-earth/backnumber/20130818/index.html>